

第 37 回土木計画学研究発表会(春大会) : 2008.6.6~7(北海道大学)

スペシャルセッション討議内容の記録

セッション名 : 地域における ITS の実践は進んでいるか?	
日付 : 6月 7日 (土)曜日, セッション時間 : 16:30 ~ 18:00	
オーガナイザー名(所属) : 内山 久雄(東京理科大学)/池田朋広((株)三菱総合研究所)	
討議内容	<ul style="list-style-type: none">・最近、情報科学、ゲーム理論に取り組んでいるが、論文をレビューしていると、コンピュータに関する知識について壁があると感じる。ITS についても情報・技術に関する知識不足が情報共有・蓄積の壁になっていないか。・現在の研究開発での仕分けは、大きな方針は土木の専門家、細かいところは電気の専門家という仕切りだが、コスト削減のために仕様に切り込むとなると、土木の専門家も少し細かいところまで踏み込んだ方が良い。・技術論ではなく付加価値が重要。大学の先生は付加価値を高める点に時間を使ってほしい。細かいところは人に任せればよい。・現在の取り組みの中では、あるメーカと組むと他のメーカが遠慮して参加してこないという課題がある。どういうところに交渉したらよいかなど方法論について、一緒に検討させてもらいたい。・研究開発の内容、成果が内部にとどまっているのは問題である。もっとオープンにして、批判を受けていくことが重要。 ・土木学会のメンバーに期待することとしては、ITS の実践による効果を客観的に評価、アピールすること。事後評価になるのだろうが、こんなに効果があるのだということの評価いただきたい。・こうした ITS セッションに多様な参加者が来てくれるということが重要。既存の ITS 業界を壊していくような取り組みが必要ではないか。・そろそろ VICS、ETC などについては、全車搭載するなどを検討し始めてよいのではないか。それでどのような社会的インパクトがあるのか等の ITS の到達点を考えていくことも重要。 ・土木学会では、新たな提言を出したい。戦略・連携推進部会の有志と外部からのメンバーの招聘で起草チームを構成し、年度内に中間提言を出したい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>